

「技能実習生に関するアンケートのまとめ」

(埼玉県内の各日本語教室における、2018年4月現在の外国人技能実習生の受け入れ状況)
アンケート送付数 44 返却数 40 回収率 90.9%

◎技能実習生の総人数 149人

1. 技能実習生の存否について

来ている=22教室

来ていない=17教室

実習生かどうかわからない=1教室

2. 出身国別人数

ベトナム =81人

インドネシア =29人

タイ =13人

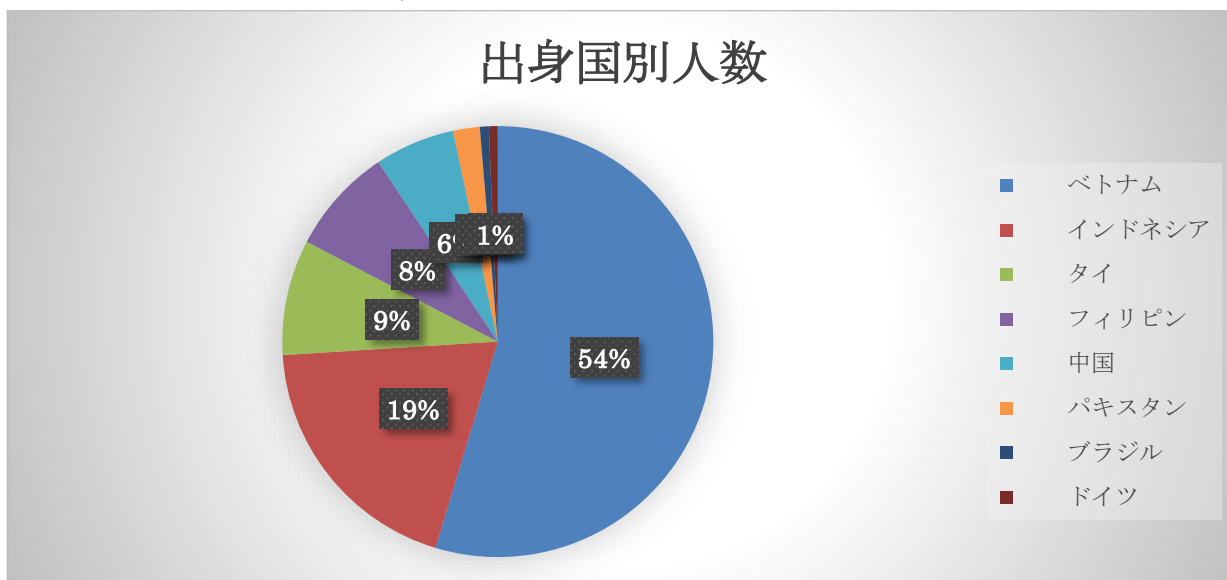
フィリピン =12人

中国 =9人

パキスタン =3人

ブラジル =1人

ドイツ =1人



3. 学習開始時期

1989年 2015年10月

2001年 2016年3月

2003年 2016年4月

2003年6月 2016年7月

2006年1月 2017年6月

2007年4月 2017年10月

2013年 2017年9月

2017年12月

2018年3月

無記入=5教室

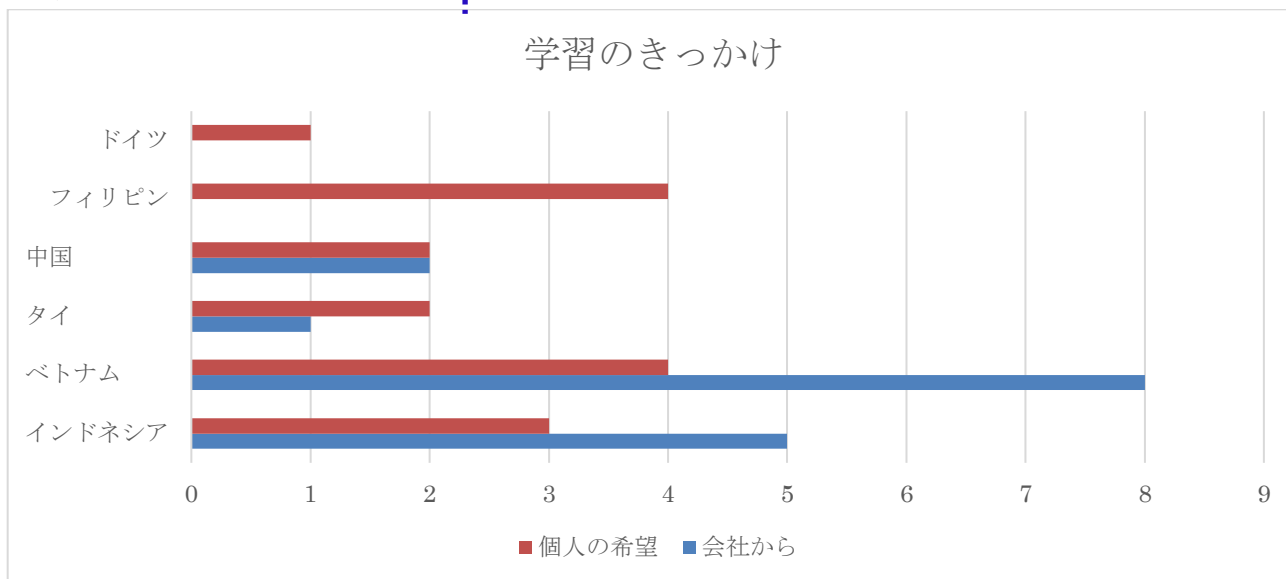
4. 学習のきっかけ

① 会社からの紹介

インドネシア	5件
ベトナム	8件
タイ	1件
中国	2件
フィリピン	4件

② 個人の希望

インドネシア	3件
ベトナム	4件
タイ	2件
中国	2件
ドイツ	1件



② その他 ・近隣市役所からの紹介・人材派遣会社からの紹介

- ・転入時の情報
- ・市からの情報（日本語教室案内）
- ・友人の紹介
- ・同国人同僚の紹介

5. 学習形態

マンツーマン=18 教室

クラス学習= 2 教室

無回答= 1 教室

6. 現状の問題・課題等について（一部・原文のまま）

- ・残業（会社の体制、本人の意思）で継続して学習を続けることが困難なケースが多い。
- ・実習生を受け入れる会社によっても学習への理解に差がある。
- ・能力検定試験（N3・N2）受験が目標。
- ・習熟度より高いレベルの能力試験受験を義務付けられている場合があり、実習生の対応は難しいと感じる。
- ・自分達が教えていることが実習生にとって正しいかどうか、ニーズに合っているか、チェック出来ない。
- ・実習生の学習に対する本音をどのように引き出すか。
- ・実習生の受け入れに関し集団での申し込みがあったが団体では有料になると話したところ、来室がなかった。
- ・学習支援の場所は公民館で行っているが、有料なので大変。企業に補助を要請中。
- ・寮では母国語で足り、会社でも日本語を使わず、週1回の学習では上達が遅い。
- ・日本滞在中に十分に日本語を使えるようになる実習生は少ないと思う。
- ・勉強はしたいが、仕事との兼ね合いが難しい。時間が欲しい。
- ・オーナーが日本人との交流を好まない。
- ・モバイルを持たされないなので、連絡が出来ない。

※その他、実習生が来ていない2教室からのコメントあり。

①来室時に実習生であるかどうかを聞かないし、日本語学習の対応だけを考えているのでプライベートな質問はしない。また、技能実習生と判断する条件が分からない。

②ある会社より5月から4名の実習生を受け入れてもらえないかとの問い合わせがあり、受け入れた。その後、6月にも追加の受け入れを頼まれたが、教室のキャパシティにも限度があるので、他の教室に通ってもらうか、秋まで待ってもらいたいという返事をした。

【追加項目】地域別にみる実習生の数

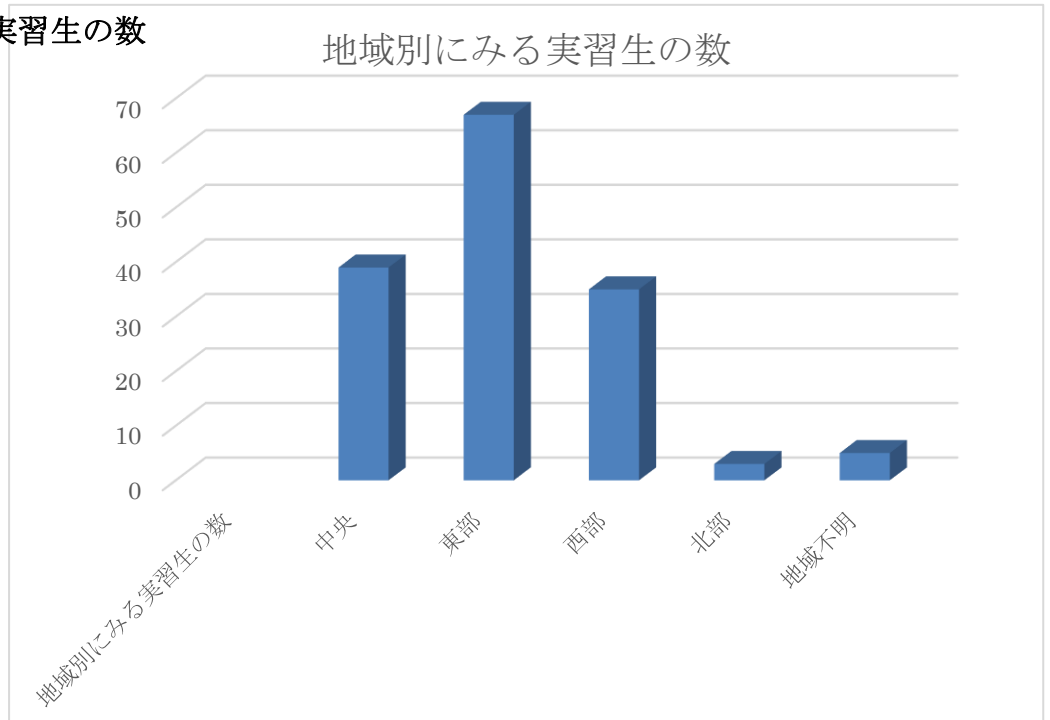
中央=39人

東部=67人

西部=35人

北部=3人

地域不明=5人



掲載情報を他の HP 等に掲載される場合は、下記までご連絡ください。

埼玉日本語ネットワーク 代表 山尾三枝子
yamao3@ac.auone-net.jp